



測量マニュアル(案)



T-ONE Ver.5リリース!



サイバー攻撃被害報告義務化

「ドローン」「3次元計測」「クラウド」など、新技術は業務に大きな影響を与えます。新技術を導入し他社との差別化を図り、さらなる生産性を向上させる経営を目指しましょう。

発行責任者 牧坂 勝

電子基準点のみを既知点とした 3級基準点測量マニュアル(案)が6月から施行

国土地理院より、電子基準点のみを既知点とした3級基準点測量マニュアル(案)が6月から施行されています。特徴として、新点間距離200mを標準とし、既知点間の距離の制限は適用しない。既知点数2点以上(作業地近傍の電子基準点を使用する)とあります。上位級である1級及び2級基準点の設置を省略でき、既知点での観測が不要なため作業時間および作業経費の削減が期待できます。3級基準点測量のGNSS観測を公共測量でより活用できるようになります。電子基準点のみを既知点とした3級基準点測量マニュアル(案)について (gsi.go.jp) (上記リンク 国土地理院公共測量のページ)

個人情報保護法改正で、サイバー攻撃被害報告義務化(2022春施行予定)

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律案が5月に国会で可決・成立しました。この法案には一本化された改正個人情報保護法が含まれており、2022年春に施行される予定となっています。

施行されると、**個人情報漏洩時における報告、通知が義務化**されます。現行法では個人情報漏洩した場合、報告は「努力義務」でしたが、改正により「法的」義務化される事が大きなポイントです。これに対応するためには、社内で個人情報がどこに、どのように管理されているのかを可視化することが必要です。また、セキュリティ対策の強化徹底(例えばネットワークや通信履歴、ログ管理など)をして改善点がないかのチェックが必要です。コロナ渦の中でも様々な形でのサイバー攻撃や新しい形のウイルスが出て来ています。完全に封じ込めることは難しいですが、出来る対策は行っていくようにしたいものです。

Trend-ONE Ver.5リリース! - 2021.6.22

(災害対策やUAV関係のオプション強化とUNICODE対応しました)

◇新機能一部紹介◇

国土地理院の提供している災害タイルに対応

(目的に応じた災害対策の地図やシュミレーションにより防災計画に役立ちます)

地理院タイルに地理院ベクターの追加

3DのデータがそのままCADデータに背景として利用でき、CAD要素として編集可能な現況平面図をこれまでより早く作成可能。3Dの業務に広く活用できる機能が標準実装されています。

UNICODEに対応

AutoCADをはじめ、新しいREXなど、他のシステムとの互換性が向上し、文字化けの心配が少なく利用できます。

体力低下を阻止するように筋持久力をつけましょう!

コロナの影響で自宅にいたことが多くなり、最近体力が落ちたという声をよく聞きます。どうすればそれを阻止できるでしょうか。筋肉に適度な柔軟性を持たせることです。筋肉に柔軟性を持たせると回復力は高まります。柔軟性を持たせる秘訣は筋肉への刺激です。特別なトレーニング器具などがなくても大丈夫です。階段の使用、部屋の清掃、スピードに強弱をつけた散歩など、1日70分、体を意識的に動かすことによって効果は現れてきます。筋肉の柔軟性を高めて体力を向上させ、コロナ禍においても、疲れに負けないカラダを目指していきましょう!

ワンポイント アドバイス 現場データをメールで送る簡単な方法 (ローカル現場)

1. 現場管理を起動します
2. メールで送りたい現場を選択します
3. 「ファイル」→「メールの送信」を選択します (ファイル上のメールアイコンをクリックでも可)

※画像はTREND-ONE Ver.5です

メールソフトによっては利用できない場合があります

